



官文一〇五號

昭和十一年八月十五日

文部次官 河原春作

資源局長官 松井春殿

昭和十一、十二兩年度ニ於ケル總動員  
計畫設定事務ニ關スル件

本年七月九日資源局發第二三五號ヲ以テ標記ノ件ニ關シ御照會相成リタ  
ル處當省ニ於テハ別段意見無之ニ付御了知相成度

内閣



一一文第四六七號

昭和十一年七月二十八日

農林次官 長瀬貞一

資源局長官 松井春生 殿

昭和十一、十二兩年度ニ於ケル總動員

計畫設定事務ニ關スル件

七月九日附資源局發第二三五號ヲ以テ御照會相成候處當省トシテハ別段ノ異議無之候條此段及回答候也

内閣



一一統第二〇九八號

昭和十一年八月十三日

商工次官 吉野信次

資源局長官 松井春生殿

昭和十一、十二兩年度ニ於ケル總動員  
計畫設定事務ニ關スル件

標記ノ件ニ關シ本年七月九日附資源局發第二三五號ヲ以テ御照會相成候  
處當省ニ於テハ別段意見無之候條此段及回答候也

内閣



文第三六四號

昭和十一年七月二十一日

遞信次官 富安謙次

資源局長官 松井春生殿

昭和十一、十二兩年度ニ於ケル總動員計畫  
設定事務ニ關スル件

本月九日附資源局發第二三五號ヲ以テ御來照ニ係ル首題ノ件別段ノ意見  
無之候

内閣



鐵軍祕第一三號

昭和十一年八月一日

鐵道次官 喜安健次郎

資源局長官 松井春生殿

昭和十一、十二兩年度ニ於ケル總動員計畫設定  
事務ニ關スル件

本年七月九日附資源局發第二三五號ヲ以テ御照會ノ標記ノ件ニ關スル閣  
議案竝ニ昭和十一、十二兩年度ニ於ケル總動員計畫事務要綱ニ付テハ當  
省トシテ別段異存無之候

内閣



管管第三六二號

昭和十一年七月十三日

拓務次官 入 江海平

資源局長官 松 井 春 生 殿

昭和十一、十二兩年度ニ於ケル總動員  
計畫設定事務ニ關スル件

七月九日附發第二三五號ヲ以テ御照會ニ係ル首題ノ件ニ關シテハ別段意  
見無之ニ付御了知相成度

内  
閣



五

閣第 一八二 號

案 起

昭和十一年十二月五日

裁可 昭和 年 月 日 施  
決定 昭和十一年十二月五日 行

昭和十一年十二月五日

內閣總理大臣

齋藤

內閣書記官長



內閣書記官



外務大臣

齋藤

陸軍大臣

齋藤

文部大臣

齋藤

逓信大臣

齋藤

內務大臣

齋藤

海軍大臣

齋藤

農林大臣

齋藤

鐵道大臣

齋藤

大藏大臣

齋藤

司法大臣

齋藤

商工大臣

齋藤

拓務大臣

齋藤

別紙資源局長官上申

第二次總動員期間計畫綱領等

追加設定、件  
右閣議ニ供ス

通牒案

昭和十一年十二月二十六日

内閣書記官長

資源局長官宛

依命通牒

本月二十三日資源局發第三五四號、二上申  
第二次總動員期間計畫細領<sup>等</sup>追加設定



、件上申ノ通閣議決定相成候

資源局發第三五四號ノ二

昭和十一年十二月二十三日

資源局長官 松井春生

內閣總理大臣 廣田弘毅 殿



第二次總動員期間計畫綱領等追加設定ノ件

曩ニ閣議決定相成候第二次總動員期間計畫綱領ニ追加シ第二次總動員期間計畫綱領案等別紙ノ通設定致候間閣議決定相成度此段上申候也

追テ第二次總動員期間計畫綱領設定ニ關シテハ本件ヲ以テ終了致候尙  
本案ニ關シテハ關係各省ト協議濟ニ候

閣甲一八六

第二次總動員期間計畫綱領等設定ノ件

總動員計畫設定處務要綱ニ基キ第二次總動員期間計畫綱領等別冊ノ通追  
加設定ス

別冊 第二次總動員期間計畫綱領等目錄

- |      |                          |               |
|------|--------------------------|---------------|
| 第一號  | 戰務組合制度要綱                 | (資計H八三五—)     |
| 第二號  | 輸入計畫綱領                   | (資計H八一六七—)    |
| 第三號  | 勞務(技術職員、職工及鑛夫)ニ關スル計畫綱領   | (資計H二五五一—)    |
| 第四號  | 勞務(技術職員、職工及鑛夫)ニ關スル計畫綱領別冊 | (資計H二五五一ノ二—)  |
| 第五號  | 交通從業者(船員、無線通信有技者)計畫綱領    | (資計H二七五二—)    |
| 第六號  | 衣料計畫綱領                   | (資計H五三五—)     |
| 第七號  | 衣料計畫綱領別冊                 | (資計H五三五—別冊)   |
| 第八號  | 科學動員計畫綱領                 | (資計H七九五—)     |
| 第九號  | 科學動員計畫綱領 別冊第一            | (資計H七九五—別冊第一) |
| 第十號  | 科學動員計畫綱領 別冊第二            | (資計H七九五—別冊第二) |
| 第十一號 | 總動員警備計畫暫定綱領              | (資計H八九九〇—)    |

— 內 閣

- |      |               |             |
|------|---------------|-------------|
| 第十二號 | 總動員期間警備計畫綱領   | (資計H八九九—)   |
| 第十三號 | 總動員期間警備計畫綱領別冊 | (資計H八九九—別冊) |

參考文書

- 一 昭和九、十兩年度總動員計畫概要 其ノ二 (資計H一五〇三ノ二)
- 二 戰務組合制度要綱說明書 (資計H八三五一ノ二)
- 三 勞務(技術職員、職工及鑛夫)ニ關スル計畫綱領附錄參考書 (資計H二五五一ノ三)
- 四 總動員計畫設定處務要綱(閣議決定) (資企C一〇〇號)
- 五 第二次總動員期間計畫綱領等追加ニ關シ關係各廳照會及同回答寫

資源局發第三五四號

昭和十一年十月二日

資源局長官

各省次官宛

第二次總動員期間計畫綱領等追加決定ノ件

左記第二次總動員期間計畫綱領等ニ關シ閣議ノ決定ヲ得度候間至急御意見御回示相煩度候

追テ本案ハ九月二十一日資源局參與、事務官會議ノ議ヲ經タルモノニ之有リ候

別冊綱領ヲ關係各省ニ送付

之同意ヲ得タリ

調四機密第六四二號

昭和十一年十月七日

外務次官 堀内謙介 印

資源局長官 松井春生 殿

第二次總動員期間計畫綱領等追加決定ノ件回答

本年十月二日附資源局發第三五四號貴信ヲ以テ本件ニ關シ閣議ノ決定ヲ得度趣ニテ當方意見回示方御申越相成了承右ハ別段ノ異議無之ニ付右様御了知相成度此段回答申進ス

内閣



内務省祕第七七號

昭和十一年十一月十九日

資源局長官殿

内務次官郎

第二次總動員期間計畫綱領等追加決定ノ件

客月二日附資源局發第三五四號ヲ以テ御照會ニ係ル標記ノ件別段異存無之候

内閣





官房祕丙第六六號

昭和十一年十二月二十三日

大藏次官 川越丈雄 印

資源局長官 松井春生 殿

十月二日附資源局發第三五四號ヲ以テ御照會有之候第二次總動員期間計  
畫綱領等追加決定ニ關スル件了承右ハ當省ニ於テ意見無之候條此段及回  
答候也

内閣



陸密第一〇二五號

第二次總動員期間計畫綱領等追加決定ノ件回答

昭和十一年十月廿一日 陸軍次官 梅津美治郎 印

資源局長官 松井春生 殿

首題ノ件ニ關シ十月二日附資源局發第三五四號ヲ以テ御照會ノ趣具存無  
之候

内閣



官房機密第二六六一號

昭和十一年十月六日

資源局長官殿

海軍次官印

第二次總動員期間計畫綱領等追加決定ニ關スル

件回答

資源局發第三五四號御照會首題ノ件ハ御來旨ノ通取計ハレ異存無之候

(終)

内閣

寫  
司法部庶第四二號

昭和十一年十月五日

司法次官 長島 毅 印

資源局長官 松井春生 殿

本月二日附發三五四號御照會ノ件當省トシテハ別ニ異存無之候條此段及  
回答候也

内閣



官文一五四號

昭和十一年十月十六日

文部次官河原春作印

資源局長官松井春生殿

第二次總動員期間計畫綱領等追加決定ノ件

本年十月二日付資源局發第三五四號ヲ以テ標記ノ件ニ關シ御照會相成  
リタル處當省ニ於テハ異存無之ニ付御了知相成度

内閣

一一文第六四六號

昭和十一年十月六日

農林次官 長 瀬 貞 一 印

資源局長官 松 井 春 生 殿

第二次總動員期間計畫綱領等追加決定ノ件

首題ノ件ニ關シ昭和十一年十月二日附資源局發第三五四號ヲ以テ御照會  
相成候處當省ニテハ別段異議無之候條御了知相成慶此段及回答候也

内  
閣

一一統第二七七二號

昭和十一年十月二十二日

商工次官 竹内可吉 印

資源局長官 松井春生 殿

第二次總動員期間計畫綱領等ニ關スル件

標記ノ件ニ關シ本月二日附資源局發第三五四號ヲ以テ御照會有之候處當  
省トシテハ別段意見無之候條御了知相成度此段及回答候也

内閣



文第五一七號

昭和十一年十月七日

遞信次官 富安謙次 印

資源局長官 松井春生 殿

第二次總動員期間計畫等ニ關スル件

本月二日附資源局發第三五四號ヲ以テ御來照有之<sup>候</sup>首題ノ件別段ノ意見無  
之候

内閣





官文第二九四四號

昭和十一年十月廿三日

鐵道次官 喜安健次郎 印

資源局長官 松井春生 殿

第二次總動員期間計畫綱領等ノ追加ニ關スル件  
本年十月二日附資源局發第三五四號ヲ以テ御申越相成候標記計畫ニ關ス  
ル各案ニ付テハ當省トシテ別段異存無之候

内閣



管管第四九七號

昭和十一年十月六日

拓務次官 入 江海平 印

資源局長官 松 井 春 生 殿

第二次總動員期間計畫綱領等追加決定ノ件

十月二日附發第三五四號ヲ以テ御照會ニ係ル首題ノ件ニ關シテハ當省トシ  
テ別段意見無之ニ付御了知相成度

内閣

供覽

企畫院發第二〇六號

昭和十三年六月一日

企畫院總裁 瀧

正 雄



內閣總理大臣 公爵 近衛文麿 殿

國家總動員會

昭和十三年五月開催ノ國家總動員會議概要ニ關スル件

去ル五月十六、十七兩日開催ノ國家總動員會議概要別冊ノ通及報告候

(昭和十三年五月開催ノ國家總動員會議概要附屬文書綴 添附)

內閣書記官

加藤

書記官

主任 內政部(會議當時) 加藤書記官



六 閣甲一五。

內閣

昭和十三年五月閉催

國家總動員會議概要

企畫院



昭和十三年五月開催ノ國家總動員會議概要

企  
畫  
院

企總動一〇一八號

昭和十三年五月二十五日

第一要綱  
一 目的

時局ノ推移ト軍ノ作戰トニ即應シ向後一層國家總動員態勢ヲ強化スル必要アルニ鑑ミ各廳企畫院參與及事務官並ニ中央及地方各廳關係官ノ會同ヲ求メ國家總動員計畫ノ完成、國家總動員法關係勅令ノ整備、國家總動員機構ノ整備促進等當面ノ諸件ニ付之ガ處理方針ヲ協議決定スルノ外此ノ機會ニ今次事變ニ對スル軍ノ作戰及國際狀勢並ニ各廳國家總動員業務ノ進捗狀況ニ關シ關係各廳ヨリ大要ノ説明ヲ徴シ以テ相互ニ適確ナル時局認識ヲ深メ國家總動員業務ニ關スル各廳間聯絡協力ヲ緊密ナラシムルト共ニ出來得レ

ハ國家總動員上緊急ヲ要スル諸政策ノ實行方ニ付有力ナル結論ヲ得ルニ在リ

二 主宰者

企畫院總裁

三 出席範圍

(一) 各廳企畫院參與及事務官

(二) 企畫院關係官

(三) 中央各廳關係官

(四) 外地各廳關係官

四 次 第

(一) 總理大臣訓示

(二) 陸海軍大臣及商工大臣挨拶

(三) 企畫院總裁挨拶

(四) 時局ニ關シ陸軍、海軍及外務各省ヨリ説明  
(五) 議事

イ 國家總動員計畫ノ完成ニ關スル件

(議案「企總動一〇一〇號」ハ別ニ添付)

ロ 國家總動員法關係勅令ノ整備ニ關スル件

(議案「企總動一〇一二號」ハ別ニ添付)

ハ 國家總動員機構ノ整備促進ニ關スル件

(イ) 國家總動員準備委員會ノ設置ニ關スル事項

(議案「企總動一〇一三號ノ一」ハ別ニ添付)

(ロ) 臨時物資調整局ト他職トノ聯絡協力ニ關スル事項

(議案「企總動一〇一三號ノ二」ハ別ニ添付)

(ハ) 具現要望事項

(議案「企總動一〇一三號ノ三」ハ別ニ添付)

二

第二經過

第一日 昭和十三年五月十六日（月曜日）

議長 瀧企畫院總裁

開會 午前十時五分

- 一 國家總動員實施ノ徹底ニ關シ企畫院及各廳ヨリ説明  
（説明題目「企總動一〇一五號」ハ別ニ添付）
  - 二 國民消費節約實行方案ニ關スル件  
（議案「企畫動一〇一五號ノ二」ハ別ニ添付）  
（國家總動員會議申合案）
  - 三 國家總動員上緊急ヲ要スル諸政策ノ徹底強行ニ關スル件  
（議案「企總動一〇一五號ノ三」ハ別ニ添付）
- 一 近衛內閣總理大臣訓示（要旨ハ別ニ添付） 風見內閣書記官長代讀
  - 二 杉山陸軍大臣挨拶（ ）
  - 三 米內海軍大臣挨拶（ ） 山本海軍次官代讀



四 吉野商工大臣挨拶 ( ) ( ) 村瀨商工次官代讀

五 瀨企畫院總裁挨拶 ( ) ( )

六 時局ニ關スル陸軍、海軍及外務各省ノ説明

イ 徐州戰前後ニ於ケル彼我ノ戰況及徐州戰ノ意義ニ付テ

林 陸軍步兵中佐

ロ 今次專變ニ於ケル海軍作戰經過及列國海軍軍備擴張ノ  
現狀ニ付テ

原 田 海軍大佐

ハ 支那事變勃發後ニ於ケル一般國際狀勢ニ付テ (要旨ハ別ニ添付)

米澤外務省調査部長

休憩 正午

再開 午後一時二十分

七 議事

(一) 國家總動員計畫ノ完成ニ關スル件

(イ) 説明 樺山企畫院總務部長

(ロ) 原案通決定

(二) 國家總動員法關係勅令ノ整備ニ關スル件

(イ) 説明 樺山企畫院總務部長

(ロ) 質疑及意見

1 厚生省 國家總動員法第十九條、第二十二條、第二十五

條及第二十六條ノ關係勅令立案擔任囑中ニ厚生省ヲ加ヘラ

レ度

2 陸軍省 同第六條、第二十一條及第二十二條ノ關係勅令

立案擔任囑中ニ陸軍省ヲ加ヘラレ度

3 農林省 同第六條ノ關係勅令立案擔任囑中ニ農林省ヲ加

ヘラレ度

4 內務省 同第七條ノ關係勅令立案擔任囑中ニ內務省ヲ加

ヘラレ度

5 司法省 司法省ハ國家總動員法關係勅令ノ立案ニ付テハ

全般的ニ關係アルモノト承知致シ度

(ハ) 右各意見ノ通修正ニ決定

(三) 國家總動員機權ノ整備促進ニ關スル件

イ 國家總動員業務委員會ノ設置ニ關スル事項

(イ) 説明 横山企畫院總務部長

(ロ) 質疑及意見特記スベキモノナシ

(ハ) 原案通決定

ロ 臨時物資調整局ト他廳トノ連絡協力ニ關スル事項

(イ) 説明 横山企畫院總務部長

(ロ) 質疑及意見

1 大藏省 案「五ノイ」トノ關係上同「二ノイ」ノ輸入許

可ニ付テハ大藏省ニ豫メ協議アリヤ

如何

2 商工省 資金計畫ヲ參酌シ事前ニ交渉ス 割當ハ物品別、  
季節別、相手別ニ定ム  
案「二ノロ」ヲ削除セラレ度 但シ差當ノ措置トシテハ異  
議ナシ

答 青木企畫院次長 案「二ノイ」ノ輸入許可ニ關スル事前  
ノ連絡ニ付テハ大藏省ノ希望ニ從フ又案「二ノロ」ハ差當  
ノ措置ト諒解セラレ度

3 海軍省 案中「他ノ礦」ノ字句ハ陸海軍ヲ含ムヤ  
横山企畫院總務部長 含ムモノト解ス

4 海軍省 案「一ノハ」ニ依ル調整ノ具體的方法如何  
答 横山企畫院總務部長 物資動員協議會ヲ活用スル者ナリ

5 海軍省 案「一ノハ」ノ「協議調ハザル」コトノ認定ハ  
外地礦ヲ主ニセララルヤ

答 横山企畫院總務部長 其ノ點ハ窮屈ニ考ヘ居ラズ 問題アル

際ハ物資動員協議會ニ付議シ尙不調ノ場合ハ閣議ニ於テ決定スレ  
バ可ナリ

(ハ) 原案通決定

ハ 具現要望事項

(イ) 説明 横山企畫院總務部長

(ロ) 質疑及意見特記スベキモノナシ

(ハ) 原案通速ニ研究ヲ進ムルコトニ決定

散會 午後二時三十分

第二日 昭和十三年五月十七日(火曜日)

議長 青木企畫院次長

開會 午前九時十五分

(四) 國家總動員實施ノ徹底ニ關スル企畫院及各廳ノ説明

イ 全般ニ關スル説明

(イ) 物資動員計畫

横山企畫院總務部長(要旨ノ詳細ハ別ニ添付)

本年一月十八日閣議決定ノ物資動員計畫ハ時日及法令ノ關係

上實施シ得ザルモノ多シ

本年度ニ於テハ爾後ニ於ケル軍需ノ増加及輸出ノ減少ニ因リ  
當初ノ計畫ニ相當程度ノ改訂ヲ要スルコトトナリ之ガ數字ハ  
目下整理中ナリ

(ロ) 生産力擴充計畫

東企書院産業部長（要旨ノ詳細ハ別ニ添付）

物資動員計畫ガ豫定ノ如ク遂行シ得ザルニ至リタル結果トシテ生  
産力擴充計畫ノ設定上ニ多少ノ支障ヲ及ボセルモ可及的速ニ之  
ガ進捗ヲ圖ル考ニシテ近日中其ノ全部ニ付一應ノ成案ヲ得ル見込ナリ

(ハ) 科學審議會

東企書院産業部長（要旨ノ詳細ハ別ニ添付）

四月二十七日第一回總會ヲ、翌日各特別委員會ヲ夫々開催シ  
爾後必要ナル審議ヲ進メツツアリ

(ニ) 質疑及意見

ナシ

ロ 軍需工業動員ニ關スル説明

(イ) 中西陸軍省戰備課長

陸軍軍需動員ノ成果ハ豫定額ニ達セザル實狀ナリ。軍需原料

材料ノ増産、輸入、勞務ノ充足等ニ付一段ノ御配意ヲ煩ハシ度

(ロ) 西尾海軍省軍務局第二課長(要旨ノ詳細ハ別ニ添付)

今日迄ノ處ニテハ作戰上大ナル支障ヲ見ズ

(ハ) 質疑及意見

ハ 物資需給調節ニ關スル説明

(イ) 村瀬商工次官(要旨ノ詳細ハ別ニ添付)

1. 生産力ノ確保増進

日滿支一體ノ生産力擴充計畫實施上必要ナル法令ハ之ヲ制定セ  
ルモ他面資金、原材料及勞働力ノ充實ヲ要スルコト勿論ナリ

2. 配給ノ統制

鐵、鋼、銅、水銀、ニツケル、コバルト、石油、棉花、羊  
毛等ノ重要物資ニ付統制組合ヲ設立セシムル等所要ノ措置  
ヲ講ジツツアリ

3. 代用品工業ノ振興

皮革、生ゴム、マニラ麻等ノ代用品ハ現ニ工業化セラレ、

人造ゴム、パルプ新原料ニ依ルパルプノ製造等ニ付テハ補助金ノ交付ニ依リ之ガ工業化ヲ促進シツツアル外代用品ノ學術的研究ヲモ進メツツアル次第ナリ

4. 消費ノ統制

主トシテ鐵、銅、金、白金、揮發油、重油、棉花、羊毛等ノ原料ニ付各種ノ措置ヲ講ジツツアリ

(ロ) 周東農林省米穀局長(要旨ノ詳細ハ別ニ添付)

1. 生産力ノ確保増進

農地制度及農業保險ノ確立、開墾ノ助成、農漁業用必需品ノ確保竝ニ勞働力ノ補充ニ努ムルノ外冷害防止施設ヲ行ヒ、更ニ甘藷、馬鈴薯、大麥、牛肉、兔、馬、皮革、菜種、棉花、苧麻及亞麻ノ増産ニ努メツツアリ

2. 配給ノ統制

主トシテ米穀ニ付行ヒツツアリ



3. 消費ノ統制

目下胚芽米ノ問題ヲ研究中ナリ

(ハ) 植場拓務省殖産局長(要旨ノ詳細ハ別ニ添付)

1. 生産力ノ確保増進

外地ニ於テハ概ネ内地ノ諸法令ヲ施行シ又ハ之ガ施行ヲ考慮中ニシテ、特ニ重要物資ノ増産ニ付テハ豫算ヲ計上シ目下實行中ナリ

2. 配給ノ統制

内地ニ順應シテ各種ノ施設ヲ行ヒツツアリ例セバ棉花、棉絲、生ゴム、石油、鐵、銅等ノ統制ノ如シ、尤モ生産資材ハ多クハ之ヲ内地ニ仰グ實情ナルヲ以テ其ノ割當ニ付テハ外地資源開發上ノ見地ヨリシテ公平ヲ期セラレ度

3. 代用品工業ノ振興

ガソリン混用用ノ無水酒精ノ増産ヲ計畫シツツアリ

4. 消費ノ統制

ス・フ、銅、鉄、石油、酒精等ニ付テハ内地ニ順應シ或ハ外地全般ニ亘リ或ハ局地的ニ統制ヲ行フ外臨時物資調整局ノ設置ニ即應シ拓務本省及外地ニ所要職員ヲ増置セリ尤モ内地ヲ於ケル消費統制ニ付テハ外地向物資ニ對スル二重統制ノ弊ニ陥ラザル様考慮セラレ度

(二) 質疑及意見

A 小金鑛山局長 生産力ノ擴充ニ付テハ

1. 障碍タル中小業ノ轉換ヲ圖ル必要アリ
2. 鑛物特ニ銅及石炭ノ國內埋藏量ハ意外ニ少シ
3. 鑛害防止ニ關シ考慮スル必要アリ
4. 公租公課ノ減免及運管關係ヲ考慮スル必要アリ
5. 滿支資源ノ取得利用ニハ相當年月ヲ要スルヲ以テ過渡期ニ於ケル措置トシテハ國立公園其ノ他風致區域内ニ埋

B  
藏セル資源ヲモ開發スル必要アリ  
備山企畫院總務部長

1. 此ノ際各鑛區間ノ境界地區ニ包藏セル石炭ヲ採掘スル  
コトニシテハ如何
2. 非鐵金屬ニ付テハ鑛石ヲ輸入シ之ヲ精鍊スル様ニシテ  
ハ如何
3. 代用品ノ使用ニ付具體的指令ヲ發シテハ如何
4. 綿絲ノ代用トシテ絹絲ノ交織ニ付考慮シ居ラルルヤ
5. 紙消費節約ノ手段トシテ包裝用紙ノ禁止、新聞雜誌ノ  
頁數制限等ヲ斷行シテハ如何
6. 白金ノ用途制限乃至之ガ代用品ノ使用ヲ考慮シテハ如  
何
7. 廢品回收組織強化ノ要ナキヤ
8. 木材消費節約ノ手段トシテ不急ノ建築ヲ一定期間禁止

シテハ如何

9. 牛肉節約ノ爲牛ノ屠殺ヲ制限シテハ如何

10. 羊毛代用トシテノ鯨<sup>肉</sup>ニ關スル研究ハ如何ナリ居ルヤ  
答 村瀬商工次官

1. 鑛區ノ整理ニ付テハ重要鑛物増産法中ニ規定セル所ニシテ目下之ガ施行準備中ナリ

2. 鑛石ノ輸入精鍊ニ付テハ研究中ナリ

3. 代用品使用ノ指令ハ臨時物資調整局ノ重要任務ナリ

4. 絹糸ノ交織ニ付テハ價格關係ヲ考慮スルノ要アリ

何

5. 農林省ト協議スルコトニ致シ度

6. 包裝用紙ノ節約ハ百貨店組合ト聯絡シテ現ニ實行中ナリ

7. 新聞紙等ノ頁數制限ニ付テモ内務省ト協議致シ度

8. 白金ノ代用品ニ付テハ目下研究中ナリ

9. 廢品ノ回收組織ニ付テハ豫算ヲ計上シ目下業者ノ團體

結成ニ努力中ナリ

8. 建築用木材ノ制限ハ鐵ノ使用ヲ制限シ居ル現狀ニ於テハ住宅問題トノ關係ヲ考慮スルノ要アリ

9. 羊毛ノ代用品ニ付テハ現ニ特許出願中ノ由ナルヲ以テ眞ニ有效ナリトノ見透ダニ着カバ極力助成致スベシ

答 周東農林省米穀局長

1. 牛ノ屠殺ニ付テハ特ニ制限シ居ラザルモ事實上ハ現ニ制限セルト同一結果ニナリ居ル等ナリ

2. 羊毛代用品ニ付テハ日本水産株式會社等ニ於テ鯨肉~~魚~~再  
生纖維ノ試作中ナルモ之ガ工業化ニ付テハ尙研究ノ余地  
アリト思料ス

0 石渡大藏次官

1. 新聞、雜誌等ノ頁數制限ノ必要ハ固ヨリトシテ之ガ發行及其ノ部數ニ付テモ制限ヲ考慮スル余地相當アルヤニ

思料セラルルガ如何

2. 木材節約ノ方法トシテハ小學校々舎ノ新增築ヲ制限スル要ナキヤ

3. 牛肉節約ノ方法トシテ軍ニ於テ牛肉罐詰ヲ豚、鰯等ノ罐詰ニ代ヘラレテハ如何

答

中西陸軍省戰備課長 陸軍ニ於テハ既ニ牛肉罐詰ノ外豚肉、魚肉、兔肉等ノ罐詰ヲ使用スルコトトセル外現地ニ於テハ努シテ現地品ノ使用ニ努メツツアリ

答

井内務省地方局長 新聞、雜誌等ノ制限ニ付テハ未ダ具體案ヲ有セザルモ之ガ實行ニ付テハ商工省ト協議致シ度

D 中西陸軍省戰備課長 昭和十四年度ニ於ケル重要物資ノ増産見込ヲ伺ヒ度

E 議長 内務省ニ於テハ木材節約ノ爲小學校々舎新增築ノ制限ヲ考慮シ居ラルルヤ

答 坂

授トノ關係ヲ考慮シ解決スルノ要アリ

F 議長 以上ノ諸問題ハ何レモ此ノ際緊急解決スルノ必要アリ

アリ

仍テ至急之ガ研究ヲ進ムルコトニ致シ度

G 石渡大藏次官 小學校ノ二部教授問題ニ付テハ企業院ニ

於テ研究スルコトトセラレ度

答 議長 實行案ニ付テハ改メテ協議スベシ

價格調整ニ關スル說明

(1) 新倉商工省商務局長 (要旨ノ詳細ハ別ニ添付)

從來ハ原料材料ノミ騰貴セシモ此ノ趨勢ハ本年初頭以來生活必需品ニ迄波及シ來レル結果之ガ對策トシテ暴利取締令ノ改

正ヲ行ヘルガ徐々ニ騰貴スル物資ニ對シテハ效果ナキヲ以テ  
物價委員會ヲ設置シ一部ノ物資ニ付テハ最高價格又ハ基準價  
格ノ制ヲ採リテ更ニ統制ニ努メツツアリ

(ロ) 周東農林省米穀局長（要旨ノ詳細ハ別ニ添付）

米價ハ米穀統制法ノ運用ニ依リ現在安定ヲ保チツツアルモ不作ノ場合ノ對策ニ付テハ目下研究中ナリ

(ハ) 質疑及意見

石渡大藏次官

1. 大藏省トシテハ通貨膨脹及爲替低落ノ防止ヲ以テ物價規正ノ重要手段ト考フルガ故ニ此ノ際貯蓄獎勵ニ主力ヲ注ギ度

2. 物價統制ノ實行的措置ハ物價委員會ニ於ケル成案ノ結果ニ俟タルル考ナリヤ

答 村瀬商工次官 物價ノ統制ニ付テハ物價委員會ヲ利用スル

コト勿論ナルモ機宜ノ措置ニ付テハ必ズシモ其ノ成案ヲ待ツコトナク適時善處スル考ナリ

ホ 貿易ニ關スル説明



(イ) 松島外務省通商局長（要旨ノ詳細ハ別ニ添付）

貿易對策トシテハ不急品ノ輸入ヲ抑制スルノ外本邦品ノ輸出促進就中對本邦出超國ヘノ輸出増加ニ努ムルノ必要アルニ鑑ミ貿易振興協議會ノ決定セル振興方針ニ基キ目下蘭印、佛印、瑞典、波蘭、獨、南米諸國、南阿、イラン、伊國等ト交渉中ナリ

南洋方面ニ於テハ事變勃發以來感情的排日皆盛ナル實情ニ在ルヲ以テ之ニ對シテハ所要ノ經費ヲ計上シ目下必要措置ヲ講ジツツアリ 固ヨリ右通商交渉ヲ進ムル爲ニハ先ツ以テ國內方策ノ決定ヲ必要トスル次第ナルガ此ノ意味ニ於テ今般物資動員計畫ノ設定ヲ見タルハ應智ニ堪ヘザル所ナリ

休憩 午後零時半

再開 午後一時四十五分

(ロ) 石渡大藏次官

爲替資金獲得ノ手段トシテ爲替相場ヲ切下グルハ不可ナリ  
蓋シ假令切下ヲ行フモ之ニ依リ輸入ノ抑制ト輸出ノ増加トヲ  
庶幾スルコト困難ナルノミナラズ戰時ニ於ケル爲替相場ノ低  
落ハ一國財政ノ行詰ヲ意味スレバナリ 故ニ爲替相場維持ノ  
爲ニハ一方ニ於テ輸入ヲ抑制シ輸出ヲ振興スルノ外他方金ノ  
増産ヲ圖ル必要アルニ鑑ミ目下銳意産金ニ努メツツアル譯ナ  
リ

現在ノ處正貨準備ハ八億圓ナルガ此ノ程度ノ正貨ハ飽ク迄之  
ヲ維持スルノ要アリ他方海外資金ノ獲得ハ必要ナルニモセヨ  
現在ニ於テハ見込薄ナルノミナラズ外省證券ノ動員ニ付テモ  
多クヲ期待シ得ザルノト考フ又滿洲、北支等ニ對スル輸出振  
興ガ爲替資金獲得上效果ナキコトモ茲ニ多言ヲ要セザルハ勿論ナリ  
(ハ) 寺尾貿易局長官(要旨ノ詳細ハ別ニ添付)  
貿易振興策トシテ左ノ方策ヲ採ル必要ヲ認メ一部ハ既ニ實施

シ、他ハ目下計畫中ナリ

1. 輸入許可及爲替許可ノ迅速化

2. リンク制ノ採用

3. 國內物價ノ引下

4. 排日貨ノ抑制

5. 對外通商交渉ノ促進

6. 輸出補償制度ノ擴充

7. 貿易斡旋所ノ増設及調査員ノ派遣

8. 求償協定締結ノ促進

(二)

井出農林省企畫課長（要旨ノ詳細ハ別ニ添付）

爲替資金擴充ノ手段トシテハ農林水産物ノ如ク之ガ生産上外

國ニ依存スル必要ナキ物資ノ輸出振興コソ特ニ重要ナリ

輸出振興策トシテハ輸出價格ノ引下ヲ行フト共ニ外國向品ノ

特作ヲ考慮スルノ要アリ

(ホ) 植場拓務省殖産局長（要旨ノ詳細ハ別ニ添付）

外地輸出ノ多クガ内地經由ナル現状ニ鑑ミ外地側トシテノ要  
望左ノ如シ

1. 求償協定等締結ノ際ニ於テハ外地物産ノ輸出可能額ヲ考  
慮セラレ度キコト

2. 外地ニ於ケル輸出品原料ノ買付ニ付テハ差支ナキ限成ル  
ベク外地官廳ニ於テ爲替許可ヲ與ヘ得ルコトニ改メ且所要  
ヲ充足スルニ十分ナル數量ノ割當ヲ考慮セラレ度キコト

3. 航路補助制度ノ擴充ニ付テハ外地主要港ヘノ寄港ヲ條件  
トセラレ度キコト

爲替資金擴充ノ爲ニハ産金法ヲ外地ニ施行シ産金ニ努メツツ  
アリ

物資ノ輸入統制ニ付テハ輸出入臨時措置法ヲ外地ニ施行シ機  
宜ノ措置ヲ講ジツツアリ

(ハ) 質疑及意見

ナシ

ハ 運輸ニ關スル説明

(イ) 伊勢谷遞信省管船局長 (要旨ノ詳細ハ別ニ添付)

船質改善施設ヲ行ヒタル結果昭和七年ヨリ同十一年ニ至ル五  
年間ニ優秀船三十萬噸ノ建造ヲ見タルガ更ニ昭和十二年以降四ヶ年  
間ニ優秀船三十萬噸ノ建造ヲ目標ニ補助シツツアリ又昨年中  
ニ於ケル造船高ハ四十萬噸ニシテ本年度ハ五十五萬噸ノ豫定  
ナリ

今次事變勃發直後船舶不足ヲ補フ爲外國船及關東州置籍船ノ  
沿岸貿易ヲ許可シ越ヘテ十月一日ヨリ臨時船舶管理法ヲ施行  
シテ日本船舶ノ外國渡ヲ禁止セル外一方ニ於テ外國船三十  
萬噸ノ輸入ヲ許可セリ  
海員補充ノ爲海事協同會等ヲシテ必要措置ヲ講ゼシメタル結

果未ダ之ガ不足ヲ感ジオル實情ナリ

船賃ニ付テハ銳角の騰貴ナシ

港灣ニ付テハ荷役設備ノ不足ヲ認メラルルヲ以テ之ガ改善ヲ要ス

海上労働者間ニ於ケル日本精神ノ昂揚顯著ナリ

(ロ) 森本鐵道調査部長(要旨ノ詳細ハ別ニ添付)

輸送力擴充ノ爲車輛ニ付テハ本年度以降四ケ年ニ亘リ擴充計畫ヲ實施スル豫定ナリ

小運送業ヲ免許事業ト爲シ不當競争ノ防止ト内容ノ充實トヲ圖ルコトトセリ

物資動員上鐵、鋼、木材、ガソリン等ニ付テハ極力各嚙ト協力シテ進ム考ナリ

交通調整ノ爲ニハ事業濫立ノ統制ヲ目標ニ陸上交通事業調整法ヲ制定シ六月一日ヨリ施行ノ豫定ナリ

(ハ) 安藤内務省土木局長 (要旨ノ詳細ハ別ニ添付)

港灣設備ノ擴充ニ付テハ應急的措置ヲ講ジツツアリ

港灣政策上將來考慮スベキ事項左ノ如シ

1. 日滿支ヲ一體トスル港灣政策ノ遂行 (殊ニ日本海沿岸港  
灣政策關係ニ付)

2. 物資増産計畫實施上必要ナル道路ノ改良及港灣ノ修築(主  
トシテ九州及常磐地方ニ於テ)

3. 臨海工業地帯ノ造成

(ニ) 植場拓務省殖産局長 (要旨ノ詳細ハ別ニ添付)

外地ニ於テハ臨時船舶管理法ヲ施行シ、外國船及關東州置籍船ノ  
沿岸貿易ヲ許可セリ

陸上運送モ概ネ圓滑ニシテ主要鐵道線ノ建設ハ之ヲ繰上ゲ實  
施中ナリ

釜山港荷役能力ノ倍加ヲ圖ル爲目下工事中ナルガ現在ノ處輪

送上別ニ支障ナシ

(ホ) 質疑及意見

A 竹内對滿事務局殖産課長 近海航路ノ運賃騰貴ガ物價ニ

大ナル影響ヲ及ボシ居ル現状ナルガ之ガ對策如何

答 遞信省管船局長 船賃ハ戰前ニ比シ一圓高ナリ 尤モ運賃

ハ世界的ニ下落ノ傾向ニアルヲ以テ若シ業者ニ於テ自制セザ

ルニ於テハ固ヨリ傳家ノ寶刀ヲ棄セザル者ナリ

B 原企畫院交通部長

1. 生産力擴充上必要ナル鐵道建設ノ爲從來ノ鐵道政策ニ

再檢討ヲ加フル要ナキヤ

2. 生産力擴充上必要ナル海陸聯絡輸送力増加ノ手段トシ

テノ海上トラツクノ統制方策如何

3. 燃料節約ノ爲省物自動車ニ對シ統制ヲ加フル要ナキヤ

答 森本鐵道調査部長



1. 國防線ニ付テハ年度割ヲ増加シ之ガ建設ヲ促進スル  
老ナリ

2. 貨物自動車ノ統制ニ付テハ現ニ研究中ナルモ未ダ具  
體案ヲ得ル程度ニ至ラズ

答 伊勢谷遞信省管船局長 海上トラツクガ今次事變ニ有效

ナリシ事實ニ鑑ミ目下銳意之ガ對策ヲ考究中ナリ

ト 電力動員ニ關スル説明

(イ) 大和田遞信省電氣局長 (要旨ノ詳細ハ別ニ添付)

電力管理ニ付テハ目下準備中ニシテ電力管理準備局ハ來月  
中ニハ實際ニ活動ヲ開始シ得ル見込ナリ

(ロ) 質疑及意見

ナシ

チ 勞務動員ニ關スル説明

(イ) 熊谷厚生省職業部長 (要旨ノ詳細ハ別ニ添付)

技術者及職工ノ養成ニ必要ナル施設ハ職業紹介事業ノ國營ニ隨伴セシメテ實施致シ度

勞務者需給ノ調整ニ付テハ内務、陸軍及海軍ノ三省ト協力シテ作成セル軍需工業勞務需給要領ヲ實施中ナリ

國民登錄ハ早急實施ヲ要スル問題ナルガ之ニ付テハ略々成案ヲ得タリ

技術者及職工ノ爭奪ニ付テハ之ガ防止ニ關シ昨年十月地方長官ニ通牒ヲ發シ其ノ取締ニ努メツツアリ

(ロ) 林厚生省衛生局長(要旨ノ詳細ハ別ニ添付)

醫師及藥劑師ニ付テハ徵用計畫ヲ樹テツツアル外之ガ實施ニ必要ナル命令ヲモ併セ準備中ナリ

(ハ) 豊田商工省文書課長(要旨ノ詳細ハ別ニ添付)

職工及鑛山現場關係員ノ養成ニ付テハ官公私立ノ養成所ヲ設置シテ之ニ當ラシメツツアル外大工場ニハ職工養成委員

會ヲ設置セシメ熟練機械工ノ養成ニ關スル研究指導ヲ爲サ  
シメツアリ又國家總動員法ニ依ル見習工保有制度ニ付テモ  
目下攻究中ナリ

(二) 田中文部省商工教育課長 (要旨ノ詳細ハ別ニ添付)

技術者養成ノ爲高等及中等ノ工業學校ヲ擴張セル外本年度  
ニ於テ技術者短期養成施設ヲ擴充セリ

(ホ) 質疑及意見  
ナシ

リ  
財政金融ニ關スル説明

(イ) 谷口大藏省主計局長

戰時財政ノ目標ハ軍需ノ充足及國民生活ノ維持ノ二ニシテ  
之ガ爲左ノ事項ノ具現ニ努メツツアリ

1. 國債ノ消化
2. 國際收支ノ適合
3. 生産力ノ擴充

(ロ) 質疑及意見

ナシ

又 銃後施設ニ關スル説明

(イ) 藤原傷兵保護院計畫局長及持永傷兵保護院業務局長

(要旨ノ詳細ハ別ニ添付)

傷兵ノ保護ニ付テハ傷兵保護院ヲ設置シ傷痍軍人ノ教養、  
教化、職業保護及醫療保護ニ努メツツアリ

(ロ) 福本厚生省軍事扶助課長(要旨ノ詳細ハ別ニ添付)

軍事援護ニ付テハ事業ノ助成、歸郷軍人相談所ノ設置、育  
英資金ノ交付等ニ依ル援助ヲ爲シツツアリ

(ハ) 井出農林省企畫課長(要旨ノ詳細ハ別ニ添付)

農村ニ於ケル銃後施設ノ目標ハ農林水産物ノ生産力ト農山  
漁村ノ生活トヲ維持セシムルニ在ルハ言ヲ俟タザル所ニシ  
テ左ノ諸施設ニ努メツツアルガ目下ノ處概ネ遺憾ヲ認メザ

ル狀況ニ在リ

1. 農山漁村ニ於ケル勤勞奉仕運動ノ普及徹底

2. 負債整理組合設立ノ促進助成

3. 授産施設ノ擴充

4. 臨時農村負債處理法ノ實施及支那事變出征記念自作農

ノ創設

5. 經濟更生計畫ノ擴充強化

(二) 副島拓務省管理局長(要旨ノ詳細ハ別ニ添付)

外地ニ於ケル傷兵保護ニ付テハ概ネ内地ニ進ジ遺憾ナキヲ

期スル爲所要職員増置ノ外傷痍軍人ノ保護、表彰、職業補

導等ヲ行ヒツツアリ

軍事援護ニ付テハ軍事扶助法ヲ施行シテ軍人遺家族ノ扶助

ヲ爲スハ勿論軍事援護相談所ヲ設置スル等所要ノ施設ヲ講

ジツツアリ

其ノ他ノ銃後施設ニ付テモ内地ニ準ジ適切ナル方策ヲ攻究  
實施中ナリ

(ホ) 豊田商工省文書課長 (要旨ノ詳細ハ別ニ添付)

中小商工業ノ保護ニ付テハ應府縣及團體ニ通牒ヲ發シ之ニ  
當ラシムルト共ニ其ノ轉換助成ニ努メツツアル外商業奉仕  
委員制度ノ實施ヲモ考慮中ナリ

(ハ) 質疑及意見

ナシ

ル 國民精神總動員ニ關スル説明

(イ) 田中文部省社會教育局長 (要旨ノ詳細ハ別ニ添付)

國民精神總動員運動ハ單ナル抽象的ナル精神運動ニ非ズシ  
テ物心一如ノ實踐的運動ニシテ官廳側ニ於テハ内閣情報部、  
内務省及文部省ヲ、民間側ニ於テハ國民精神總動員中央聯  
盟ヲ夫々中心トシテ之ガ指導ニ當リツツアリ而シテ此ノ

運動ハ從來精神方面ニハ相當ノ效果ヲ擧ゲ來タレルモ財政  
經濟方面ニハ不徹底ノ憾アリシニ鑑ミ今後ハ此ノ方面ニ一  
層ノ努力ヲ傾倒シ以テ非常時國策ノ遂行ニ貢獻センコトヲ  
期スル次第ナリ

(ロ) 副島拓務省管理局長(要旨ノ詳細ハ別ニ添付)

外地ニ於テハ内地ノ中央及地方ニ進ジ各地共中央及地方委  
員會ヲ設置シパンフレット類ノ刊行頒布、講演會ノ開催等  
ノ方法ニ依リ之ガ徹底ヲ圖リツツアリ

(ハ) 質疑及意見

(五) 國民消費節約實行方策ニ關スル件、國家總動員上必要ナル諸  
政策ノ徹底強行ニ關スル件

イ 議長 本件ニ付テハ時間ノ關係上此ノ席ニ於ケル協議ヲ取  
止メ近日中改メテ適當ナル範圍ニ於テ協議スルコトニ致シ度  
異議ナク承認

閉會午後七時十五分

企

第三

出席者

(順序不同)

畫

院

中	金	加	山	厚	植	原	東	原	中	橫	青	瀧
島	井	藤	越	東	村			口	村	山		
書	書	書	書	庶	調	交	產	財	內	總	木	總
記	記	記	記	務	査	通	業	務	政	務	次	
官	官	官	官	課	部	部	部	部	部	部		
				長	長	長	長	長	長	長	長	裁



三 植 新 河 岸 久 池 小 山 伊 秋 大 岡 北 久 大  
鳥 松 庄 越 保 田 西 田 能 山 森 村 野 保 野  
調 調 調 調 調 調 調 調 書 書 書 書 書 書 書  
查 查 查 查 查 查 查 查 記 記 記 記 記 記 記  
官 官 官 官 官 官 官 官 官 官 官 官 官 官 官

內閣官房總務課

菅 石 內 矢 山  
原 井 田 部 口  
事 事 事 調 調  
務 務 務 查 查  
官 官 官 官 官

內閣統計局

稻 田 總 務 課 長

平 木 局 長

華 山 庶 務 課 長

法制局

樋 貝 第 二 部 長

森 山 第 一 部 長

入 江 參 事 官

二〇

對滿事務局

林竹原  
內

少 事務課長  
佐官長

內閣情報部

川面書

書記官

利光書

書記官

國鹽情

報官

原川情

報官

柳川情

報官

外務省

堀內次官

松島通商局長

米澤調查部長

小林通商局總務課長

重松調查部第二課長  
田内事務官

内務省

羽生次官

坂土地方局長

安藤土木局長

數野文書課長

木村振興課長

鈴木第一技術課長

宮内事務官

大藏省

藏省事務官

石渡次官

谷口主計局長

中村爲替局長

相田財政經濟調查課長

長谷川外資課長

陸

藤	八	岡	中	富	牧	堀	山	佐	中	山	梅	軍	森	秋	小	松
村	里	田	西	田	野	場	之	藤	村	脇	津	省	永	元	栗	限
步	步	步	砲	步	航	航	内	航	軍	整	備	次	事	事	事	國
兵	兵	兵	兵	兵	空	空	步	空	務	局	局		務	務	務	稅
中	中	中	中	中	大	少	中	中	局	局			務	務	務	課
佐	佐	佐	佐	佐	佐	佐	佐	佐	長	長	官		官	官	官	長

海  
軍  
省

石 加 下 笠 田 岡 友 山 岡 岡 眞 林 久 中  
井 藤 村 原 代 野 末 田 航 崎 田 保 山  
主 步 砲 主 步 砲 工 步 空 主 步 步 步 步  
計 兵 兵 計 兵 兵 兵 兵 兵 計 兵 兵 兵 兵  
大 大 大 大 少 少 少 少 中 中 中 中 中 中  
尉 尉 尉 尉 佐 佐 佐 佐 佐 佐 佐 佐 佐 佐

司

大	岩	法	後	川	堀	橋	橫	白	西	原	平	山	勝	井	山
森	村	省	藤	井	內	本	井	石	尾	田	野	本	田	上	本
民			中	中	中	大	大	大	大	大	中	中	中	務	次
事	次													局	
局															
長	官		佐	佐	佐	佐	佐	佐	佐	佐	佐	佐	佐	長	官

農  
 林省  
 小林  
 小濱農務局長  
 周東米穀局長  
 井出企業畫課長

文  
 部省  
 田中社會教育局長  
 清水成人教育課長  
 田中商工教育課長  
 寺中事務官  
 早川督學官  
 藤井囑囑  
 岩切囑託

梶村調查部第二課長  
 大竹調查部第一課長  
 松田事務官



燃		貿				商			
料		易		中	豐	小	新	村	工
局		局		野	田	金	倉	瀨	省
	新井第二部輸入課長	寺尾長官		事	文	鑽	商	次	
				務	書	山	務	官	
				官	課	局	局		
					長	長	長		
									伊藤馬政局總務課長
									前谷事務官
									大森事務官

臨時物資調整局

竹内 長官  
立花 總務課長

長谷川 第二部長

山田 第三部長

辻 第四部長

美濃部 第八課長

滋尾 事務官

平井 事務官

遞信省

大和田 電氣局長

伊勢谷 管船局長

岩井 造船課長

今井 田事務官

武由 事務官

金光 事務官

拓務省  
森本  
吉松  
第一課  
三木  
事務官  
森本  
部長

鐵道調查部

西堀山喜道  
阪木田安  
車文運  
務書輸  
官長長官  
事務官  
局長  
局長  
官

鐵道省

航空  
片桐  
事務官  
局長  
事務官

久保  
井保  
事務官  
事務官  
事務官

藤原計畫局長	傷兵保護院					厚														
	三	福	櫻	熊	林	廣	生	清	渡	江	植	副	萩							
	川	本	井	谷		瀨	省	水	邊	口	場	島	原							
	事	軍	文	職	衛			事	商	調	殖	管	理	次						
	務	專	書	業	生	次		務	工	查	產	局	局							
官	扶	課	部	局	官		官	課	課	局	局	局	官							
	助	長	長	長				長	長	長	長	長								
	課																			
	長																			

持永業務局長

朝鮮總督府

松永事務官

臺灣總督府

木原調查課長  
加藤技師

關東局

御厨文書課長

樺太廳

本山調查課長（代理）

南洋廳

高橋拓殖部長（代理）

昭和十三年五月開催

國家總動員會議概要附屬書類綴

企畫院

IMT 640

156

昭和十三年五月開催ノ國家總動員會議概要

附屬書類綴

目次

- 一 國家總動員會議次第
- 一 國家總動員會議ニ於ケル內閣總理大臣訓示
- 一 總動員會議ノ席上ニ於ケル陸軍大臣口演案
- 一 國家總動員會議ニ於ケル海軍次官挨拶
- 一 國家總動員會議挨拶（商工大臣）
- 一 國家總動員會議ニ於ケル企畫院總裁挨拶要旨
- 一 國家總動員計畫ノ完成ニ關スル件
- 一 國家總動員法關係勅令ノ整備ニ關スル件
- 一 國家總動員機構ノ整備促進ニ關スル件
- 一 國家總動員業務委員會ノ設置ニ關スル事項

内閣

第二 臨時物資調整局ト他廳トノ聯絡協力ニ關スル事項  
第三 具現要望事項

一 國家總動員實施ノ徹底ニ關スル企畫院及各廳說明題目  
一 國民消費節約運動實行案

一 國家總動員上必要ナル諸政策ノ徹底強行ニ關スル件  
一 國家總動員會議ニ於ケル企畫院說明要旨

物資動員計畫ニ關スル事項  
生産力擴充計畫ニ關スル事項  
科學審議會ニ關スル事項

一 昭和十三年五月十六日國家總動員會議ニ於ケル時局ニ關スル外務省米澤調查部長說明

一 國家總動員會議ニ於ケル各廳說明要旨  
軍需工業動員ニ關スル事項（海軍關係）  
物資需給調節ニ關スル事項（商工省）



（拓務省）

醫藥品ノ生産力確保増進ト輸入統制ニ關スル事項

（厚生省）

價格調整ニ關スル事項（商工省）

（拓務省）

貿易ニ關スル事項（外務省）

（商工省）

（拓務省）

運輸ニ關スル事項（鐵道省）

（内務省）

（遞信省）

（拓務省）

勞務動員ニ關スル事項（商工省）

（厚生省）

（熊谷職業部長）

勞務動員ニ關スル事項 (厚生省) (林衛生局長)

(文部省)

(拓務省)

(厚生省)

(商工省)

銃後施設ニ關スル事項

(藤原傷兵保護院計畫課長)

(厚生省)

( )

(拓務省)

(持永傷兵保護院業務局長)  
(福本軍事扶助課長)

電力動員ニ關スル事項 (逓信省)

國民精神總動員ニ關スル事項 (文部省)  
(拓務省)

國家總動員計畫設定業務沿革概要  
各省ニ於テ昭和十三年度國家總動員態勢ノ整備ニ關シ豫定セ

ル措置概要



國家總動員會議次第

第一日 五月十六日（月曜日） 午前十時內閣總理大臣官舎ニ於テ開會

企 畫 院	昭和十三年五月十三日	企總動一〇〇四號
-------------	------------	----------

- 一 總理大臣訓示
- 二 陸海軍大臣及商工大臣挨拶
- 三 企畫院總裁挨拶
- 四 時局ニ關シ陸海軍及外務省ヨリ説明
- 五 議 事
  - イ 國家總動員計畫ノ完成ニ關スル件
  - ロ 國家總動員法關係勅令ノ準備ニ關スル件
  - ハ 國家總動員機構ノ整備促進ニ關スル件

第二日 五月十七日（火曜日）午前九時内閣總理大臣官舎ニ於テ開會  
ニ 國家總動員實施ノ徹底ニ關シ企畫院及關係各廳ヨリ説明

（終）

昭和十三年五月十六日

國家總動員會議ニ於ケル內閣總理大臣訓示

茲ニ各位ノ御參集ヲ煩ハシ國家總動員會議ヲ開催スルニ當リマシテ  
所懷ヲ陳ベマスコトハ私ノ欣快トスル所デアリマス  
支那事變ガ長期戰ノ形態ヲ執ルニ至リマシタ現状ニ於キマシテハ物  
心兩面ニ亘リ帝國ノ全力ヲ總動員シテ抗日政權ノ翳滅ヲ圖リ以テ速  
ニ東洋平和ノ根基ヲ確立致サネバナラナイノデアリマス而シテ之ガ  
爲ニハ陸海軍ノ作戰ニ呼應シテ國家總動員態勢ノ確立ヲ圖ルコトガ  
實ニ喫緊ノ要務ニ屬スルノデアリマス。既ニ第七十三回帝國議會ノ  
協贊ヲ經マシタル國家總動員法ハ五月五日ヲ以テ施行セラレ、國家  
總動員態勢ノ確立ヲ圖ルベキ法的基礎ヲ得マシタコトハ現下ノ時局  
ニ鑑ミ洵ニ其ノ意義ノ重大ナルヲ感ズル次第デアリマス。依テ此ノ  
際國家總動員法關係勅令ノ整備ヲ圖リ時局ノ急ニ應ズベキ國家總動

員計畫ヲ完成セシメ、國家總動員機構ノ整備充實ヲ期スルト共ニ官  
民一致ノ協力ニ依リ重要物資ノ需給ヲ調整シ進ンデハ之ガ供給源ヲ  
擴充スル等廣汎多岐ニ亘ル國家總動員ノ準備及實施ニ努メネバラ  
ナイノデアリマシテ此ノ點ニ付キマシテハ特ニ強固ナル決意ヲ以テ  
善處セネバラヌト考ヘル次第デアリマス  
時局益々重大ヲ加ヘツツアルノ秋國家總動員會議ヲ開催シ重要諸問  
題ノ審議ヲ致シマスルコトハ其ノ意義極メテ深キモノアリト考ヘマ  
ス希クバ十分ニ審議ヲ盡サレ以テ本會議ノ目的達成ニ努メラレシ  
トヲ望ミマス



總動員會議ノ席上ニ於ケル陸軍大臣口演案

昭和十三年五月十六日

事變勃發以來皇軍ハ北支ニ中南支ニ豫期ノ戰績ヲ收メ武威ヲ中外ニ宣揚スルヲ得マシタコトハ固ヨリ御稜威ノ然ラシムル所デアリマスガ亦忠勇義烈ナル將兵ノ決死奉公ト眞摯熱誠ナル銃後國民特ニ各廳ノ御支援御協力ニ負フ所ガ多ク此ノ點感謝ニ堪ヘナイ次第デ御座イマス抑々事變ニ對處スヘキ帝國ノ方針ハ既ニ數次ニ亘ル政府ノ聲明ニ依ツテ明ナル如ク國民政府ヲ相手トセズ之ガ徹底的勦滅ヲ期シテ斷乎攻撃ヲ續行スル一方新興政權ノ育成發達ヲ促進シ更生新支那ノ建設ニ協力シ兩國國交ノ調整ヲ期セントスルモノデアリマス此ノ方針ヲ貫徹スル爲軍事ハ固ヨリ庶政百般ノ施策ト國家ノ總力トヲ統合集結シ舉國邁進

スルコトガ現下喫緊ノ要事デアルコトハ申スマデモナイコトデアリマス  
而シテ作戰成果ノ擴大ハ事變解決ノ根幹ヲ成スモノデアリマスカラ軍  
ト致シマシテハ從來ノ戰果ヲ確保擴充スルハ勿論前ニ述ヘマシタ國策  
ノ要求スル所ニ基キ更ニ戰面ヲ擴大スル必要アル場合ニハ固ヨリ直ニ  
之ニ應ズル決意ト用意トヲ有スルノデアリマス現ニ永遠ノ計ニ對處ス  
ル爲先般來一部軍隊ヲ整理シテ長期持久ニ對應スルノ態勢ヲ整ヘツツ  
アルノ外積極的解決ノ爲着々諸準備ヲ進メテ居リマス然シ乍ラ一方虎  
視眈々タル第三國ノ野心ヲ未然ニ抑壓シツツ他方廣大ナル土地ト數億  
ノ人口トヲ擁シテ長期抗戰ヲ企圖スル蔣政權ニ對シ徹底的打撃ヲ與フ  
ル爲ニハ長期且大規模ノ國家總力ノ戰爭參加ガ絶對必須デアリマシテ



特ニ軍備ノ急速ナル強化ト生産力ノ飛躍的擴充トハ其ノ二大支柱デア  
ルト確信致シテ居リマス斯クシテ初メテ帝國ヲ核心トシ滿洲及北支ヲ  
外廓トスル國防ノ完璧ヲ期シ更ニ進ンデ東亞ヲ歐米列強ノ桎梏ヨリ解  
放シテ明朗ナル亞細亞ヲ創造スヘキ聖戰究極ノ目的ヲ達シ得ルノデア  
リマス

願レバ聖戰十ヶ月第一線ノ異常ナル勇戰奮闘ニ依リ忠勇ナル將兵三萬  
ヲ失ヒ八萬餘ヲ傷ケ敵ニ對シテハ約百萬ノ損害ヲ與ヘ北支ノ大部ト中  
支ノ要點ヲ完全ニ占領シタルニモ拘ラズ今ヤ事變ハ長期ニ亘ル國家總  
力戰ノ段階ニ入り前途ハ尙遼遠ナルヲ覺悟シナケレバナリマセン  
此ノ場合速戰即決ハ固ヨリ望ム處デアリマスガ苟モ支那ヲ輕視シ情況

ヲ樂觀シテ蔣政權ノ屈服、非常時ノ解消モ近キニ在リト爲スガ如キ考  
ヘハ大ナル誤デアリマシテ國民ノ一部ニテモ斯ノ如キ誤レル認識ヲ持  
ツモノガアリマシタナラバ速ニ之ヲ是正シナケレバナリマセン

熟々世界ノ情勢ヲ大觀致シマスルニ非常時ハ單ニ帝國ノミデアリマ  
セン此ノ事態ニ處シテ列強悉ク軍備ヲ充實シ綜合國力ノ擴充ニ汲々  
ル狀況デアリマシテ恰モ世界大戰直前ニ於ケル狀況ニ彷彿タルモノガ  
アリマス此ノ形成ハ總力戰ノ見地ヨリ觀マストキハ既ニ其ノ第一期  
ニ入ツテ居ルノデアリマシテ今ヤ戰爭準備ト云フ形式デ緒戦ヲ行ヒツ  
ツアルト謂フベキデアリマス

吾々ハ此ノ嚴然タル事實ヲ見逃シテハナリマセンノデー一九四〇年頃ニ

ハ列強ハ殆ド其ノ準備ヲ完了致シマスルノデ其ノ曉ニ於キマシテハ愈々積極的政策ニ乗り出スデアリマセウシ此ノ時期コソ國際關係ノ一大轉換期デアリマシテ眞ノ世界的非常時ハ今後數年ニシテ襲ヒ來ルモノト思ハレルノデアリマス 斯ル情勢下ニ於テ帝國ト致シマシテハ當面ノ支那事變ノ徹底的解決ニ努力シツ、一方更ニ數年後ニ來ラントスル眞ノ非常時克服ノ爲必要ナル準備ヲ今日ヨリ十分ニ整ヘテマキリマスコトノ肝要デアリマスコトハ多言ヲ要シナイノデアリマス

之ガ爲ニハ官民共ニ非常時局ヲ再認識シ國策ノ貫徹ニ同ツテ茲數年間眞ニ臥薪嘗膽凡ユル困苦缺乏ニ打克チ國家總力戰ノ遂行ニ必須缺クベカラザル總動員ノ態勢ヲ速ニ完成シ時局ニ應ズル總動員ヲ完全ニ遂行

スルト共ニ軍備ノ充實ト生産力ノ擴充ヲ斷行シ以テ本格的總力戰發生ノ場合ニ對應スル諸準備ノ完成ニ努メマスコトガ皇國ノ使命達成ノ爲唯一無二ノ方策デアルト信ズルノデアリマス殊ニ此ノ方策遂行ニ對スル鞏固ナル國民的團結ノ結成ハ國策達成ノ爲生命デアリマス之ガ爲先ヅ官吏自ラ範ヲ示シテ一致結束ヲ圖ル外一般國民ニ對シ舉國一體此ノ難局ヲ打開スルコトノ必要ナル所以ヲ深刻ニ理解セシムルト共ニ各種ノ手段ヲ盡シテ帝國ノ美風デアリマス所ノ國民的團結ノ威力ヲ最高度ニ發揚スル事ガ緊要デアリマス

以上申述べマシタコトハ今日ノ帝國ニ取りマシテ極メテ重要デアリマスコトハ勿論國防ノ第一線ヲ擔任致シテ居リマス軍ガ十分ナ戦力ヲ發

揮致シマス爲ニ特ニ缺クヘカラザル要件デアリマス内ニ總動員ノ態勢  
ガ整ハズ國民ノ結束ガ弛緩致シマシテハ外千里ノ異境ニ軍ノ戦力ヲ遺  
憾ナク發揮シマスコトハ極メテ困難デアリマス是レ軍ガ總動員ニ對シ  
テ終始關心措カザル所以デアリマス總動員ノ核心的業務ニ任ジテ居ラ  
レマス各位ノ熱心ナル御努力ニ依リマシテ總動員ノ態勢モ追々強化サ  
レテ參ツタノデアリマスガ時局ハ益々重大性ヲ加ヘ總動員ノ態勢ハ更  
ラニ一層急速ニ完成サレネバナラヌ情勢ニ在リマスノデ邦家ノ爲一段  
ノ御協力ヲ御願ヒ致シタイノデアリマス

國家總動員會議ニ於ケル海軍次官挨拶

(昭和十三年五月十六日)

國家總動員會議ノ爲各位ノ參集セラレマシタ此ノ機會ニ海軍大臣ノ代  
表ト致シマシテ一言御挨拶ヲ申上ゲマス

願ミレバ昨年七月支那事變勃發以來既二十箇月ヲ經過シ其ノ間海軍ト  
致シマシテハ上海方面ニ於ケル陸戰ヲ始メトシ支那全土ニ及ブ航空制  
略、南北四百餘浬ノ全支沿岸ニ亘ル航行遮斷等ニ其ノ全力ヲ舉ゲ  
着々作戰ノ成果ヲ收メ皇軍ノ威武ヲ中外ニ發揚スルニ至リマシタコト  
ハ是固ヨリ御稔威ノ然ラシムル所デアリマスガ亦參戰將兵一同ノ忠烈  
ト銃後ニ於ケル國民ノ後援トニ由ルモノデアリマシテ此ノ未曾有ノ事  
變ニ際シ官民協力克ク奉公ノ赤誠ヲ披瀝シ直接間接ニ軍ノ作戰遂行ニ

寄與セラレツツアルコトハ深く感激スル所デアリマス

今ヤ事變ハ第二ノ段階ニ入り愈々支那ノ長期抗戰ニ對應シ我國ハ飽ク迄出師ノ目的達成ニ邁進シ國難ノ打開ニ當ルベキ時機ニ立到リマシタコトハ今更申ス迄モナク海軍ト致シマシテハ固ヨリ十分ノ覺悟ト準備トチ有シテ居リマスガ時局處理ニハ是非共全國民ガ協力一致全力ヲ擧ゲテ之ニ當ル必要ガアルノデアリマシテ物心兩面ニ亘リ綜合國力ノ發揮ニ遺憾ナキヲ期セネバナラヌノデアリマス、就中我國ノ物的資源ハ惠マレザル所尠クナイノデアリマスカラ之ヲ最モ有效適切ニ統制運用スル爲ニハ異常ノ苦心ヲ拂ハネバナラヌコトハ當然デアリマシテ今後ニ於テハ決シテ從來ノ成果ニ満足スルコトナク餘程斷乎タル處置ヲ必

要トスルノデアリマス、巷間動モスレバ事變ニ對スル眞ノ認識ヲ缺ク  
 ガ如キ言動モ無キニシモ非ルハ寒心ニ堪エヌ所デアリマスガ時局ハ眞  
 ニ重大デアリマシテ其ノ推移ハ遽ニ豫斷ヲ許サズ今日ニ於テ一大決意  
 ノ下ニ萬全ノ策ヲ講ゼネバ徒ニ時局ノ解決ヲ遷延セシメ之ガ爲多大ノ  
 國力ヲ消耗スル結果トナルコトアルヲ虞レルノデアリマシテ各位ニ於  
 カレマシテハ篤ト此ノ點ヲ賢察セラレ速ニ所謂總動員態勢ヲ整備シ何  
 時如何ナル事態ノ變轉ニ對シテモ些<sup>イサ、カ</sup>モ動ズルコトナク征戰ノ目的達成  
 ニ精進セラレンコトヲ切望スル次第デアリマス  
 終ニ臨ミ資源局創設以來多年ニ亘リ途上幾多ノ荆棘<sup>キョク</sup>ヲ排シテ我國總動  
 員ノ研究準備ニ當ラレ隱忍今日ノ非常時局ニ備ヘラレタル關係者各位



ノ努力ニ對シ衷心敬意ヲ表スルト共ニ今次事變ヲ機トシ將來國防ニ對  
スル國民ノ努力ノ愈々眞摯ナランコトヲ期待スルモノデアリマス

(終)

國家總動員會議挨拶（商工大臣）

昭和十三年五月十六日

商工大臣ハ唯今旅行中デアリマスルノデ私カラ商工大臣ノ御挨拶ヲ代  
讀致シマス。

支那事變ノ起リマシテ以來、我皇軍ノ奮戦力闘ニ依リ戦局ハ熾ヤカシ  
キ進展ヲ示シテ居リマスガ、戦線ノ擴大ト事變ノ長期化ニ伴ヒ之ニ要  
スル軍需資材ノ需要ハ急激ニ増加シツ、アルノデアリマス。而シテ右  
ノ軍需資材ヲ圓滑ニ調達シ、他方國民生活必需品ノ供給ヲ確保スルコ  
トハ事變究局ノ目的ヲ達成スル上ニ於テ不可缺ノ必要事デアルノデア  
リマシテ、近代戦ガ經濟戦トカ物資戦トカ稱セラル、所以モ亦茲ニ在  
ルト存ズルノデアリマス。然シ乍ラ此ノ事タルヤ我國ノ國防資源ノ賦

存狀況、物資ノ生産力、輸入力或ハ資金ノ現状等ヨリ觀マスルニ、種々困難ガアルノデ御座イマシテ、種々ノ重要物資ニ付キ供給ガ需要ニ伴ハズシテ、不足ヲ來シテ居ルモノガアルノデアリマス。而シテ此等ノ缺陷ヲ是正シマス爲ニハ平時經濟ヨリ所謂戰時經濟ヘノ編成換ヘテ行ヒ、以テ計畫的ニ國防經濟ノ機能ヲ充實スルコトガ肝要デアリマスノデ、商工省ニ於キマシテモ事變以來各種ノ重要物資ニ亘リ之ガ需給ヲ調整スル爲ニ生産力ノ擴充、輸入ノ確保、配給統制、消費ノ規正或ハ代用品ノ使用普及等各般ノ事項ニ付措置ヲ講ジテ居ルノデアリマシテ、之等ノ點ニ付テハ後ニ各關係官ヨリ詳細御説明申上ゲル筈デアリマスルガ、此ノ物資調整ノ事務ハ事柄ガ非常ニ廣汎ニ亘リ各事項ガ相互ニ

複雑微妙ナ關聯ヲ有シテ居リ、其ノ運用ガ適正ヲ得ルト云フコトハ寔ニ容易ナラザルコトデアリマシテ、今日迄實施シテ參ツタ事項ニ付テモ未ダ不完備ノ點モ少カラザルモノガアルト存ズルノデアリマス。

今般商工省ニ於キマシテハ、重要物資ノ需給調整ノ仕事ニ當ラシムル爲ニ特ニ臨時物資調整局ヲ設置致シ、之ヲ契機トシテ更ニ物資動員態勢ノ整備充實ニ力ヲ致ス積リデアリマスガ、此ノ仕事ハ官民協力一致シテ當ラネバ其ノ實效ヲ擧ゲ得ナイノハ勿論デアリマスルシ、又計畫ヲ樹テ實施スルニ當ツテモ一省一局ノ力ノミチ以テハ到底之ヲ能クシ得ナイノデアリマシテ、勞働力、技術、資金、運輸等物資需給調整事務ニ密接ナル關聯ヲ有スル事項ニ付テ關係各廳ノ充分ナル御協力ヲ得